

事務事業 No./名 称	■サービス部門 防安-04 安全・安心まちづくり推進事業 □支援部門									
主管課	市民安全課					関連課				
分野名	地域安全									
目標 (目標値)	安全で快適な生活が送れるまちを実現するため、地域ぐるみでの防犯対策を推進します。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	101,713	87,498	74,938						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	101,713	87,498	74,938						
	人員配置数	2.5	3.0	3.0						
	人件費(千円)	19,713	25,476	25,278						
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	121,426	112,974	100,216						
	市民1人当 りの経費(円)	685	638	566						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	厚木市	大和市
	人口(H25.1.1)	173,907	412,739	259,179	416,832	196,692	236,803	57,915	224,924	231,103
	刑法犯認知件数	933	3,257	3,055	3,786	1,772	1,963	363	2,863	2,497
	人口千人当たりの刑法 犯認知件数	5.36	7.89	17.15	9.08	9.01	8.29	6.27	12.73	10.8
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
自主防犯活動団体の取組(自治・ 町内会)	△	目標値	118	123	137	141	148			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	117	126	129	128				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
安全・安心まちづくり推進事業 (経常経費)	94,948千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E		
	事業の概要	防犯アドバイザーによる地域の防犯活動への支援、防犯灯の維持や設置等への助成、犯罪発生情報の提供等			
安全・安心まちづくり推進事業 (政策的経費)	6,765千円	①効率性 ○ ②妥当性 △ ③有効性 △ ④公平性 ○	⇒ □A □B ■C □D □E		
	事業の概要	防犯アドバイザーによる地域の防犯活動への支援、地域巡回パトロールによるパトロールの実施			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		事業の概要			

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	振込め詐欺被害防止等への対応、防犯灯のLED化への転換推進		
課題解決のための取組	振込め詐欺被害防止等について、防犯メール・ツイッター・ホームページ等により注意喚起を行う。防犯灯LED化促進のため、LED一体型防犯灯への改造費補助金の増額を行う。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	振込め詐欺被害防止等への対応、防犯灯のLED化への転換推進、自主防犯活動団体(自治・町内会等)の結成促進		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		LED型防犯灯への転換推進、犯罪発生状況・犯罪被害の注意喚起、防犯意識の高揚を図るための防犯講話等を総合的に推進して、市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを推進する。	課長等名 市民安全課長 高木 明
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
安全・安心まちづくり推進事業 (経常経費)	主な個別事業	1145 防犯アドバイザーの配置	2,521	2,512	○	○	○	○
		1145 防犯灯維持・設置等への助成	95,609	92,067	○	○	○	○
		1145 その他犯罪発生情報等の提供等	571	370	○	○	○	○
安全・安心まちづくり推進事業 (政策的経費)	主な個別事業	1188 防犯アドバイザーの配置	2,466	2,456	○	○	○	○
		1188 地域巡回パトロール員の配置	4,798	4,025	○	△	△	○
		1188 防犯グッズ貸出し	285	284	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							